

文化を活かす 地域を活かす

— 若者が日本の観光を変える —

基調講演 観光再考

— いま、何が若者をひきつける光になるか

デービッド・アトキンソン (『新・観光立国論』著者)

トークセッション

「文明観光学」と「匠」による人づくり

デービッド・アトキンソン

石本東生 (本学文化・芸術研究センター教授)

新妻淳子 (本学文化・芸術研究センター講師)

平成30年7月14日(土) 13時~15時
開場: 12時30分

会場: 静岡文化芸術大学 講堂

入場無料 定員: 先着300人 申込締切: 7月10日(火)必着

代表者氏名、人数、代表者電話番号を以下のメール、FAX又は往復ハガキでお申込みください。
申込先: 静岡文化芸術大学 観光講座係 Mail: kanko@suac.ac.jp FAX: 053-457-6123
〒430-8533 浜松市中区中央2-1-1 お問い合わせ: TEL: 053-457-6114

交通アクセス
[徒歩] JR浜松駅より徒歩15分。
[バス] 浜松駅バスターミナル ◆10番のりば 遠鉄バス「文化芸術大学」下車 (70番 子安・笠井行きを除きます)
◆12番のりば 循環まわバス「ぐる・る」北ループ「文化芸大」下車
※ 本学には駐車場はございません。公共交通機関、又は他の駐車場をご利用ください。 主催: 公立大学法人静岡文化芸術大学



文化を活かす、地域を活かす ～若者が日本の観光を変える～

社会・経済の構造がグローバル化に伴って大きく変化しつつある今、私たちが自ら地域の展望を描き、持続的な発展を実現していくためには、先人が培ってきた地域の文化的資源や技、歴史的背景を理解するとともに、それらを付加価値のある新たなスタイルで提供し、需要を生み出していく必要があります。

「観光」が、国や地域を成長させる有力な要素として注目される中、本学では、2019年度、新たに文化政策学部で「文明観光学コース」を、デザイン学部で「匠領域」をスタートさせ、日本の観光を、地域を変えていく若い世代を育む取組みが、いよいよ始まります。

このたびの講座では、日本の文化財や観光のあり方に新たな視点から多様な提言を続ける、英国出身のデービッド・アトキンソン氏の基調講演をもとに、本学の石本東生教授と新妻淳子講師が、新たなコースと領域の内容や、そこでの人づくりについての思いを語り、意見を交換します。



デービッド・アトキンソン

小西美術工芸社代表取締役社長

1965年イギリス生まれ。オックスフォード大学（日本学専攻）卒業後、大手コンサルタント会社や証券会社を経て、1992年ゴールドマン・サックス証券会社入社。大手銀行の不良債権問題をいち早く指摘し、再編の契機となった。同社取締役を経てパートナー（共同出資者）となるが、2007年退社。同社での活動中、1999年に裏千家に入門し、2006年に茶名「宗真（そうしん）」を拝受。

2009年に創立300年余りの国宝・重要文化財の補修を手掛ける小西美術工芸社入社、取締役役に就任。2011年代表取締役会長兼社長、2014年に代表取締役社長。

政府への提言を続ける一方、各地の観光振興のため奔走し、2015年から対外経済政策研究会委員、京都国際観光大使、二条城特別顧問などを務める。

2016年財界「経営者賞」、2017年「日英協会賞」受賞、2018年総務省「平成29年度ふるさとづくり大賞個人表彰」、2018年日本ファッション協会「日本文化貢献賞」受賞。

著書に『新・観光立国論』、『新・所得倍増論』、『日本再生は、生産性向上しかない!』、『世界一訪れたい日本のつくりかた』、『新・生産性立国論』など多数。



石本東生

本学文化・芸術研究センター教授

長崎県生まれ。奈良大学文学部卒業後、イスラエル、ギリシャに留学。1999年国立アテネ大学大学院歴史考古学専攻科博士課程修了（Ph.D.）。帰国後、2001年から2013年までギリシャ政府観光局日本・韓国支局で観光プロモーションの実務に携わる。奈良県立大学地域創造学部観光学科准教授、追手門学院大学地域創造学科准教授等を経て、2018年現職。

ギリシャ・エーゲ海地域の歴史的町並みや伝統的集落の町並み保存と持続可能な観光発展の関係、京都、神戸、奈良等の伝統的建造物群保存地区と観光振興を中心に調査・研究活動を行っている。



新妻淳子

本学文化・芸術研究センター講師

宮城県生まれ。日本建築専門学校卒業後、東京大学工学部建築学科研究生。日本建築専門学校専任教員を経て、2017年現職。一級建築士、博士（工学）。

静岡県近代化遺産（建造物等）総合調査調査員、久能山総合調査特別調査員等の活動を通して、日本伝統建築の研究に取り組む。本学では、伝統建築の意匠、大工技術、道具、材料等について実物による学びを通じた人材育成を目指している。「静岡県のすごい産業遺産」、「しずおか近代和風建築さんぽ」（いずれも静岡県文化政策課発行）の執筆にも携わった。

2019年4月、新たな2つの教育プログラムがスタートします

文明観光学コース（文化政策学部）

世界と日本をつなぎ、観光立国を目指す時代へ。
新しい学問領域から、次世代の人材を育成します。

〈学びの特徴〉

- ・新しい観光資源の発掘
- ・新しい観光分野の開拓
- ・グローバルな視野による貢献

匠領域（デザイン学部）

伝統建築や伝統工芸の継承から、新たな創造へ。
新たな世界を切り拓く人材を育成します。

〈学びの特徴〉

- ・伝統建築・伝統工芸の未来を拓く
- ・地域社会の発展に貢献するデザイン
- ・日本の伝統を生かしたデザイン